

2 取組方針

図書館は、「ミッション・ビジョン」に則り、県が設定する各種計画における位置づけに沿って館を運営し、事業を展開する。
令和 5（2023）年度～9（2027）年度に取り組む主な計画では、「信州ナレッジスクエア」「電子図書館（電子書籍）サービス」の活用が明記され、関連機関との連携によって、資料・情報の充実、空間の提供、人材育成を行うこととしている。

- 「長野県総合 5 か年計画」しあわせ信州創造プラン 3.0
～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～
 - ・ デジタル実装による地方の課題解決
 - ・ 歴史や文化芸術に興味関心をもつタッチポイントの充実
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境の創出
- 「第 4 次長野県教育振興基本計画」 個人と社会のウェルビーイングの実現
～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり
- 「第 2 次長野県文化芸術振興計画」
～文化芸術の 価値を高め、支える、ひろげる、つなげる、信州のゆたかな未来～
 - ・ 多様な分野における文化芸術の活用
 - ・ 地域の文化芸術の推進力の強化
 - ・ 地域の伝統文化の保存・活用

※ この他、「子ども・若者支援総合計画」、「自殺対策推進計画」、「過疎地域持続的発展計画」等にも位置付けられている。

計画に沿って取り組む

令和 5 年度取組方針

1. 資料・情報

いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信できる情報基盤を安定運用し、紙とデジタルの特徴を生かした蔵書構築を進めます。

2. 空間・場

実空間である図書館の 1 ～ 2 階のフロア、3 階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、日常的に知的活動が展開・循環する「場」を創出します。

3. 人材育成

潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。

4. 長野県 eLibrary 計画

図書館のさまざまな機能・サービスについて、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進めます。特に「信州ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスによる学校との連携、地域資料のデジタル化・発信、読書バリアフリーを重点的に進めます。